

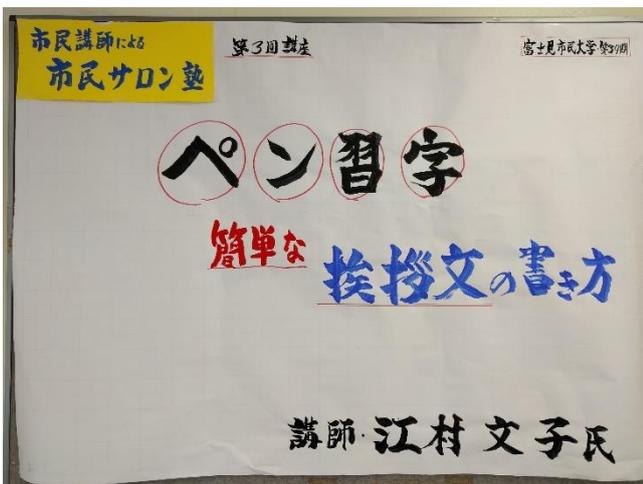
市民サロン塾 第3回 平成28年6月27日(月) 13:30~15:30

「ペン習字」

⇒ 簡単な挨拶文の書き方 ⇨

講師:江村 文子 氏

受講は20名の出席があり、先生の先導で文字を書く前に手首と指の運動をして、まず線を書く練習をしました。



今回でペン習字は4回目ですが、初めて受講された方が3名。
新しい方から“ひらがなのお手本”が欲しいとのことで、次回に用意することにしました。

テーマは簡単な挨拶文、暑中見舞いの葉書の練習 千曲川旅情の歌 島崎藤村の詩（落梅集注の一編）歌も有名であるが、を受講生が選択して数名の方が書いていました。

注：明治34年（1901）発刊。

江村先生 始めは前の席に持ってきた受講生の添削をしてくださり、後は先生が受講生のテーブルを回り、一人ひとり書いたものを添削して下さいました。

先生から“皆さま、横、縦がそろっているのでとてもきれいです。”おほめの言葉。
（御世辞でもうれしいと・・・受講生の声）



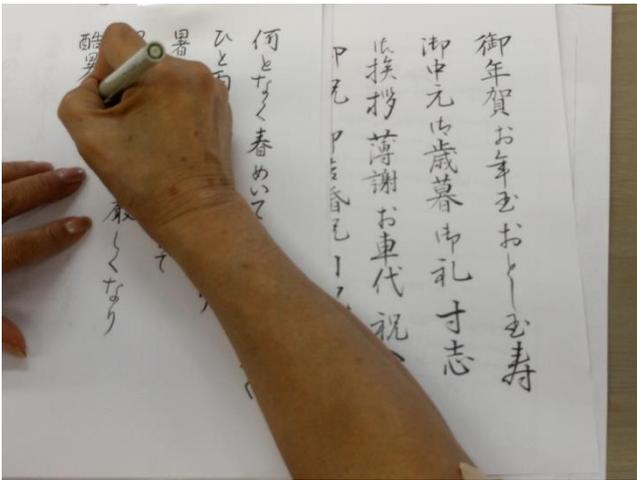
何となく春めいて風はまだ冷たく
 ひと雨ごとに暖かさが加わり
 暑さ寒さも彼岸まで
 暑さも日増しに厳しくなり
 酷暑の候いかがお過ごしですか
 暑さ厳しき折から 暑続き
 暦の上では もう 秋ですが

千冊旅情の詩 鳥崎藤村

小渚なる 古城のほとり 雲しらく
 遊子かなしむみどりなすはこへは
 もえず 若草もしくによしなし白がぬ
 の衣の岡邊 日にとけて 淡雪ながる
 あたから光はあれど 野にみつる香もしらす

暮れゆけば浅間も見えず

歌かなし 佐久の草笛



暑中お見舞

申しあげます

炎暑しのぎがたい日々が続きますが
皆様がからお過しです。私どもは
元気に過ごしております。

酷暑のみぎりどうぞご自愛ください。
八月一日
かーこ

暑中見舞ありがとうございました

旅先からの楽しそうなお便り、拝見させて
いただきました。さっとよい思い出を作ってく
れたことでしょうか。私も元気に過ごして
おります。暑さまたきびしい折
どうぞご自愛ください。

八月十三日

残暑お見舞

申しあげます

立秋とは名のみの暑さです。たいへ
な暑さだったのでありますが、お過し
です。私もおかげさまで元気に暑さ
を乗り越えました。涼しくなりましたらお逢
いたいですね。

残暑厳しい折おからだをたいせに。

残暑見舞ありがとうございました

立秋とは名ばかりの暑さでございます。
さすが皆様にはお健やかにお過ごし
のことお喜び申し上げます。私ども一
も元気にしております。
朝夕いくらかしのびやすくなつてま
す。またどうぞご自愛ください。



最後に

受講生から一言をいただきました。

○前からやっていたが、やはり出来ない字はきれいに書けない！

○字は小学校以来、自分の名前の練習が出来てうれしい。

○縦・横の間隔を掴むことが出来ました。来年も続けてほしい。

○昨年のようにペン習字を2回やってほしい。

・・・等 受講生の声がありました。

先生からは、町の看板等を見ても書き方に気付くようになるので、皆さま家で練習をしてくださいと。

*江村先生、人材バンク野崎さんありがとうございました。